

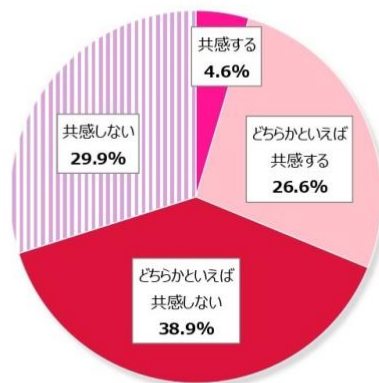
【総論】性別役割分担意識への共感度



「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識について聞くと、「共感する」が5%、「どちらかといえば共感する」が27%で、合わせると3割強。一方で「共感しない」が3割を占め、「どちらかといえば共感しない」を合わせると、7割弱にのぼる。

Q2A.「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識に共感しますか。
(ひとつだけ)

(N=10,000)



共感する計：31.2%

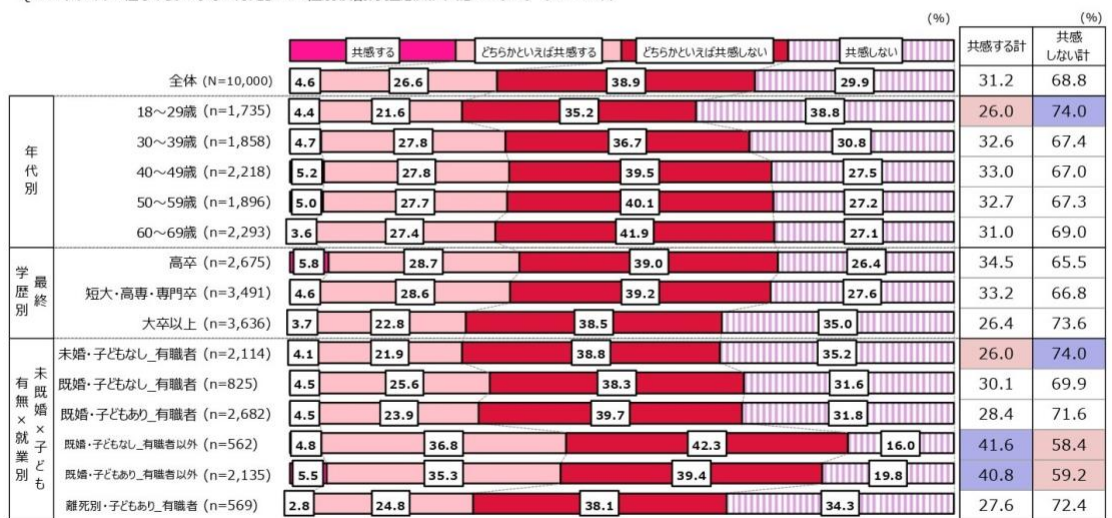
1

性別役割分担意識への共感度



性別役割分担意識への共感度を年代別で見ると、18～29歳では「共感する計」が26%と低く、「共感しない計」が7割を超える。30代以上では大きな差はみられない。最終学歴別で見ると、大卒以上層で「共感する計」がやや低い。未婚×子ども有無×就業別で見ると、「共感する計」は未婚×子ども有無にかかわらず、有職者層で低く、有職者以外層で高い。

Q2A.「夫は外で仕事、妻は家事・育児」という性別役割分担意識に共感しますか。(ひとつだけ)



■ : 全体より+5ポイント以上 □ : 全体より-5ポイント以下

2

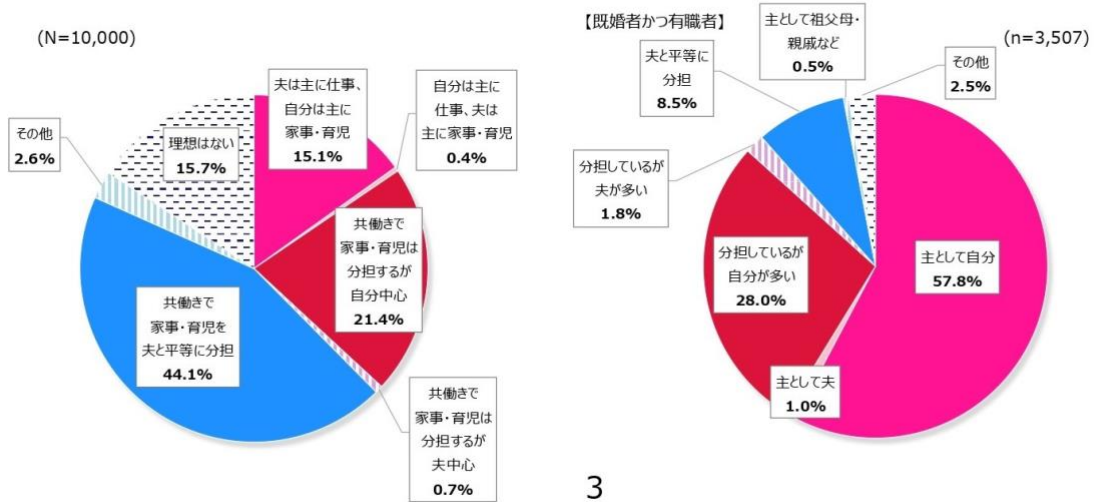
【総論】理想の夫婦の役割分担／現実の夫婦の役割分担



理想の役割分担については、「共働きで家事・育児を夫と平等に分担」が44%で最も多い。以下「共働きで家事・育児は分担するが自分中心」が21.4%、「夫は主に仕事、自分は主に家事・育児」が15.1%と続き、それらの合計で37%。自分が家事・育児を主に担当したいと思う層が一定数存在する。既婚かつ有職者について現実の役割分担をみると、「主として自分」が58%と半数を超え、次いで「分担しているが自分が多い」が28%。理想として最大の「夫と平等に分担」は9%にとどまる。

Q2B. 仕事や家事・育児について、夫婦間でどのような役割分担が理想ですか。(ひとつだけ)

Q3C. 既婚者かつお仕事をもちの方にかがいます。あなたのご家庭では、家事や育児は主にどなたが担っていますか。(ひとつだけ)



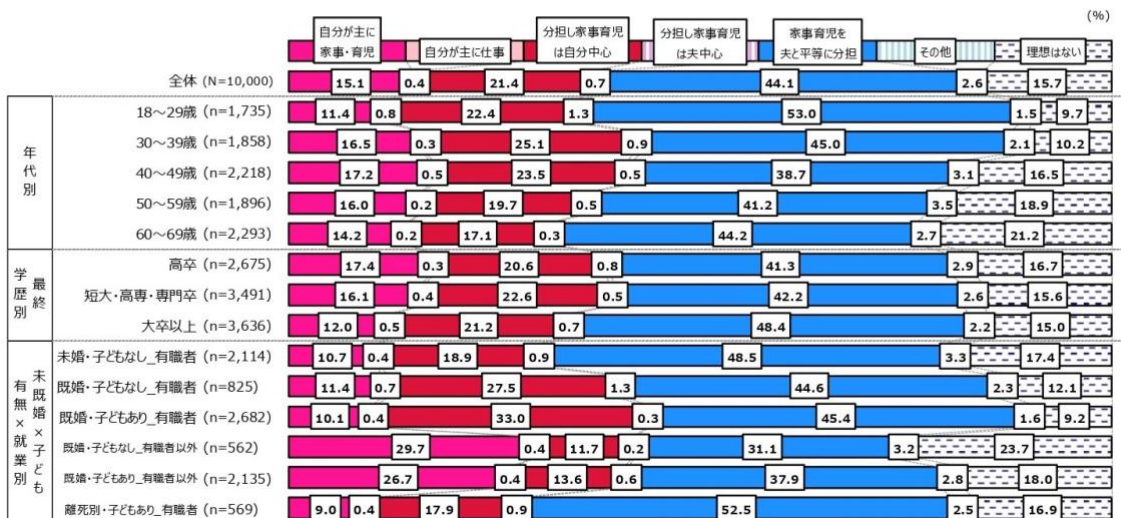
3

理想の夫婦の役割分担



理想の夫婦の役割分担を年代別でみると、「家事・育児を夫と平等に分担」の割合は18~29歳で最も高く、5割を超える。最終学歴別でみると、大卒以上層で「家事・育児を夫と平等に分担」の割合が高い。未婚×子ども有×就業別でみると、離婚×子どもあり_有職者層では「家事・育児を夫と平等に分担」が5割を超える。既婚_有職者以外層は子どもの有無にかかわらず、他の層より「自分が主に家事・育児」の割合が高い。

Q2B. 仕事や家事・育児について、夫婦間でどのような役割分担が理想ですか。(ひとつだけ)



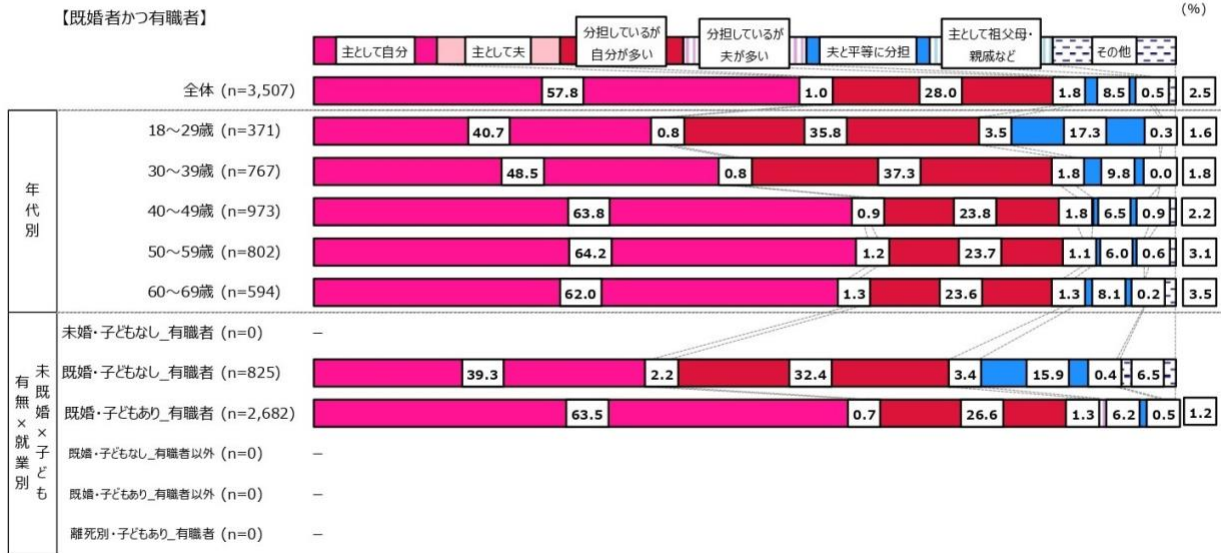
4

現実の夫婦の役割分担



既婚かつ有職者について現実の夫婦の役割分担を年代別でみると、40代以上では「主として自分」が6割を超える。30代以下では「主として自分」が5割未満で、「分担しているが自分が多い」が3割を超える。既婚有職者を子ども有無別でみると、子どもあり層では「主として自分」が6割を超えるが、子どもなし層では「主として自分」が4割弱、「分担しているが自分が多い」が3割強となっている。

Q3C.既婚者かつお仕事をもちの方にはうかがいます。あなたのご家庭では、家事や育児は主に誰が担っていますか。(ひとつだけ)



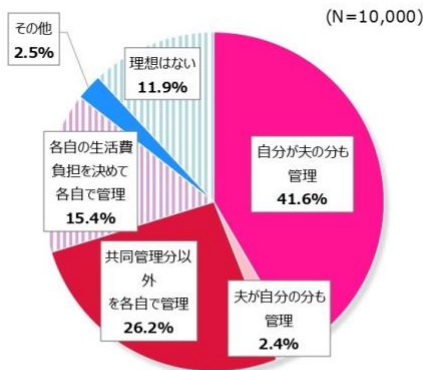
5

【総論】理想の家計管理の方法／現実の家計管理の方法

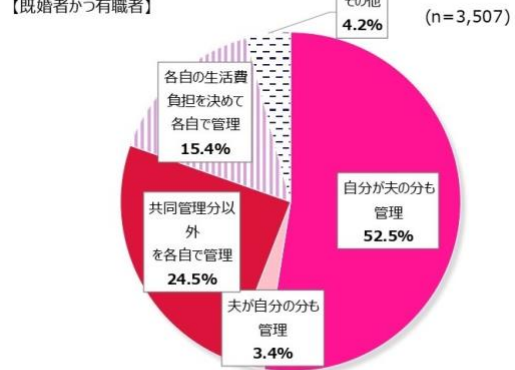


理想の家計管理の方法としては、「自分が夫の分も管理」が42%で最も多く、以下「共同管理分以外を各自で管理」(26%)、「各自の生活費負担を決めて各自で管理」(15%)と続く。既婚かつ有職者について現実の家計管理方法をみると、「自分が夫の分も管理」が最も多く、53%と半数を超える。これに「共同管理分以外を各自で管理」「各自の生活費負担を決めて各自で管理」の順で続き、それぞれ理想とはほぼ同水準の割合となっている。

Q3A.家計の管理はどのような形が理想ですか。(ひとつだけ)



Q3B.既婚者かつお仕事をもちの方にはうかがいます。あなたのご家庭では、実際の家計管理はどうしていますか。(ひとつだけ)



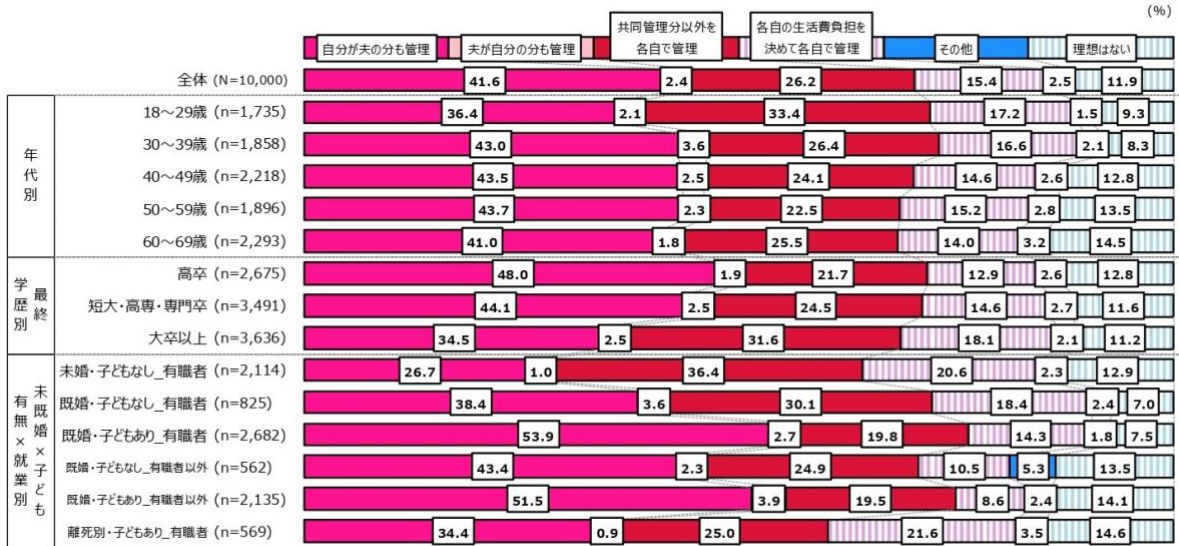
6

理想の家計管理の方法



理想の家計管理の方法を年代別で見ると、18~29歳では「共同管理分以外を各自で管理」が3割を超え、30代以上より高い。最終学歴別で見ると、大卒以上層は他の層より「自分が夫の分も管理」の割合が低く、「共同管理分以外を各自で管理」の割合が高い。未婚×子ども有無×就業別で見ると、既婚・子どもあり層は職業の有無にかかわらず、「自分が夫の分も管理」が5割を超える。未婚・子どもなし_有職者層では「共同管理分以外を各自で管理」が3割を超え最も多い。

Q3A.家計の管理はどのような形が理想ですか。(ひとつだけ)



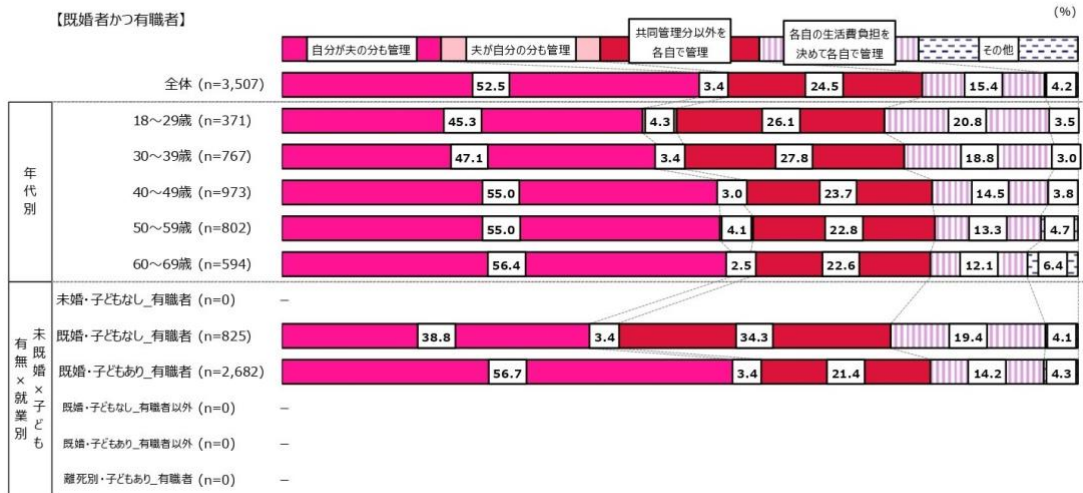
7

現実の家計管理の方法



既婚かつ有職者について現実の家計管理の方法を年代別で見ると、40代以上で「自分が夫の分も管理」が5割を超える。既婚_有職者を子ども有無別で見ると、子どもあり層では「自分が夫の分も管理」が5割を超えるが、子どもなし層では「自分が夫の分も管理」と「共同管理分以外を各自で管理」がそれぞれ30%台となっている。

Q3B.既婚者かつお仕事をもちの方には、あなたのご家庭では、実際の家計管理はどうしていますか。(ひとつだけ)



8

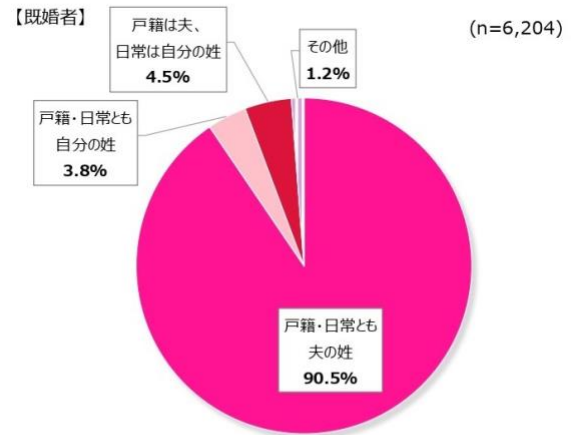
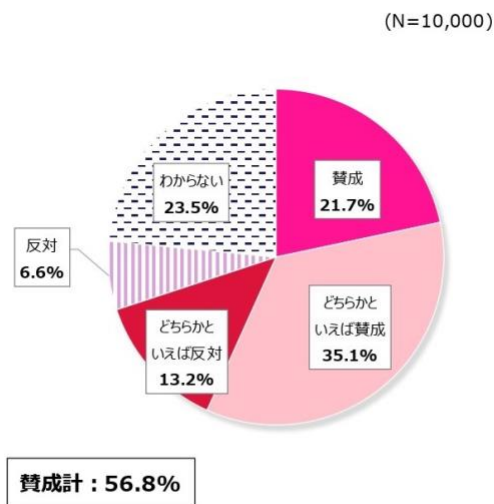
【総論】夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否／夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応



夫婦同姓については、「賛成」が22%、「どちらかといえば賛成」が35%で、これらを合わせた賛成派は57%と半数を超える。「反対」(7%)と「どちらかといえば反対」(13%)を合わせた反対派は2割、態度保留は2割強を占める。既婚者について現実の対応をみると、「戸籍・日常とも夫の姓」が91%にのぼる。「戸籍・日常とも自分の姓」は4%で、合わせて94%が日常も含め夫婦同姓にしている。「戸籍は夫、日常は自分の姓」は5%。

Q4A. 民法は、夫婦が同じ氏（姓）を名乗る「夫婦同氏（夫婦同姓）」を定めていますが、これについてどう思いますか。（ひとつだけ）

Q4C. 既婚者の方に向かっていきます。あなたは「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、現実にとどのように対応していますか。（ひとつだけ）

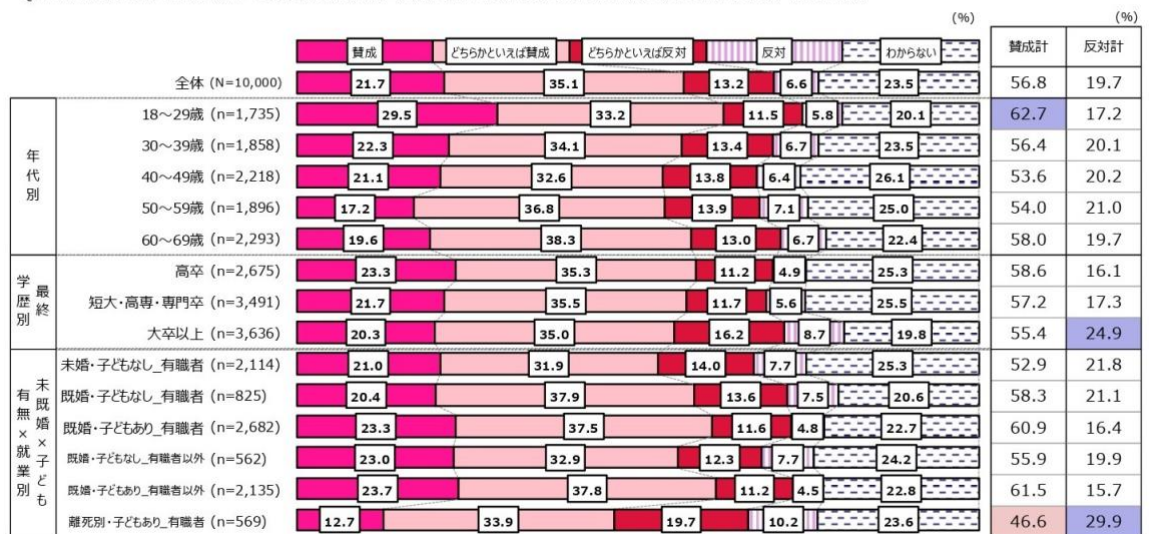


夫婦同姓（夫婦同氏）への賛否



夫婦同姓への賛否を年代別でみると、「賛成計」は18~29歳で6割強と高いが、30代以上では大きな差はみられない。最終学歴別でみると、大卒以上層で「反対計」が2割を超える。未婚×子ども有無×就業別でみると、離死別・子どもあり_有職者層は他の層に比べて「賛成計」が低く、「反対計」が高い。

Q4A. 民法は、夫婦が同じ氏（姓）を名乗る「夫婦同氏（夫婦同姓）」を定めていますが、これについてどう思いますか。（ひとつだけ）



■ : 全体より+5ポイント以上 □ : 全体より-5ポイント以下

夫婦同姓（夫婦同氏）への実際の対応



既婚者について夫婦同姓への実際の対応を年代別で見ると、年代が高いほど「戸籍・日常とも夫の姓」の割合が高く、年代が低いほど「戸籍は夫、日常は自分の姓」の割合が高い。
 最終学歴別で見ると、大卒以上層で「戸籍・日常とも夫の姓」の割合が低く、「戸籍は夫、日常は自分の姓」の割合が高い。既婚者の子ども有無×就業別で見ると、子どもなし_有職者層のみ「戸籍・日常とも夫の姓」が70%台と低い。

Q4C. 既婚者の方にはうかがいます。あなたは「夫婦同氏（夫婦同姓）」について、現実どのように対応していますか。（ひとつだけ）



11

未婚率上昇・晩婚化について



未婚率上昇・晩婚化についての様々な考え方について聞いた。【結婚せずに1人で自由に使える時間が維持できるのはいいことだ】については、「そう思う」が70%を占める。年代による差が顕著で、若年層ほど「そう思う」が高く、18～29歳では8割を超える。

Q5A. 未婚率の上昇・晩婚化が進んでいますが、以下の考え方についてどう思いますか。（それぞれひとつずつ）



12